

現在の取り組み

- 平成27年度に、「有収率向上に係る方策の検証・実証アクションプラン」（以下「アクションプラン」という。）を策定し、アクションプランに基づく老朽管の布設替えをはじめ、種々の対策を実施。
- 平成29年度に、外部有識者を招いた「改善対策検討会議」を開催。
※外部有識者：（社）日本水道協会、（財）水道技術センター、東京水道サービス（株）
アクションプランに基づき実施している、種々の対策の有効性評価や新たな対策の検討について、外部有識者から意見を聴収。

「岐阜市水道事業有収率改善計画」（平成30年3月）を策定。

<有収率改善計画による対策>

- 1 漏水等を減らす直接的な対策（主な対策）
 - ・老朽管の布設替え（塩化ビニール管の布設替えを主体に更新率1%を確保）
 - ・漏水調査と早期修繕（市内全域の調査を2年で一巡、速やかな修繕等の対応）
- 2 管理のしやすさに資する対策（主な対策）
 - ・小ブロック化の推進（有収率の細かな把握）
 - ・流量計等メーターの確認（流量計の更新による流量の正確な把握）
- 3 ソフト的な対策（主な対策）
 - ・漏水調査技術の継承（技術研修等による職員の育成）



対策の着実な実施による確実な有収率の向上に努める。

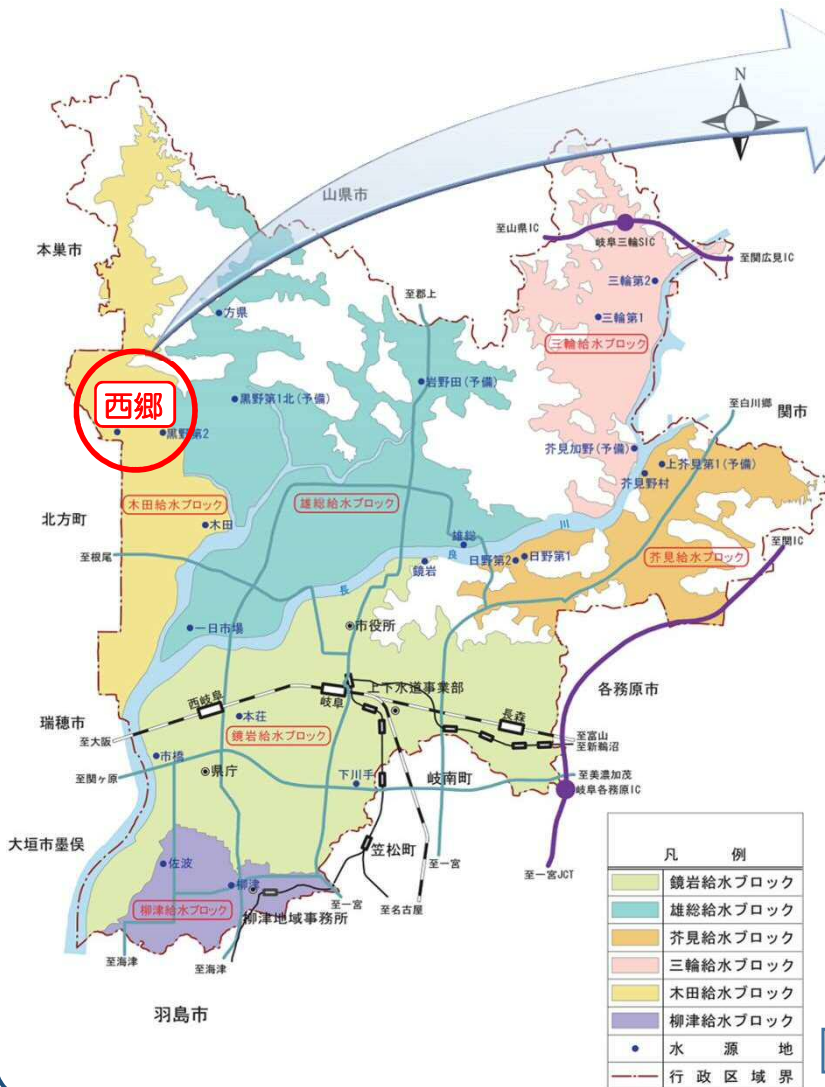
水道事業における有収率改善への取り組み

対策による効果の実証の一例

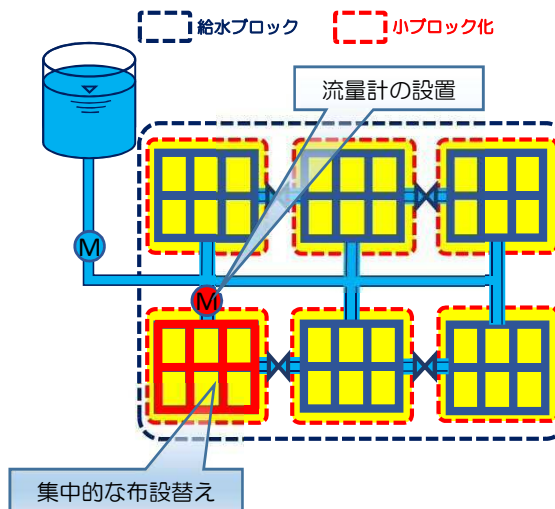
■小ブロック化及び40年経過（法定耐用年数超過）塩化ビニール管布設替えによる有収率改善の効果の実証

対策の実施が比較的容易な郊外において塩化ビニール管の割合が高く有収率が著しく低い地域

市北西部の木田給水ブロック内の西郷ブロックにおいて対策の効果を検証



＜小ブロック化イメージ図＞



《有収率改善計画に基づく対策》

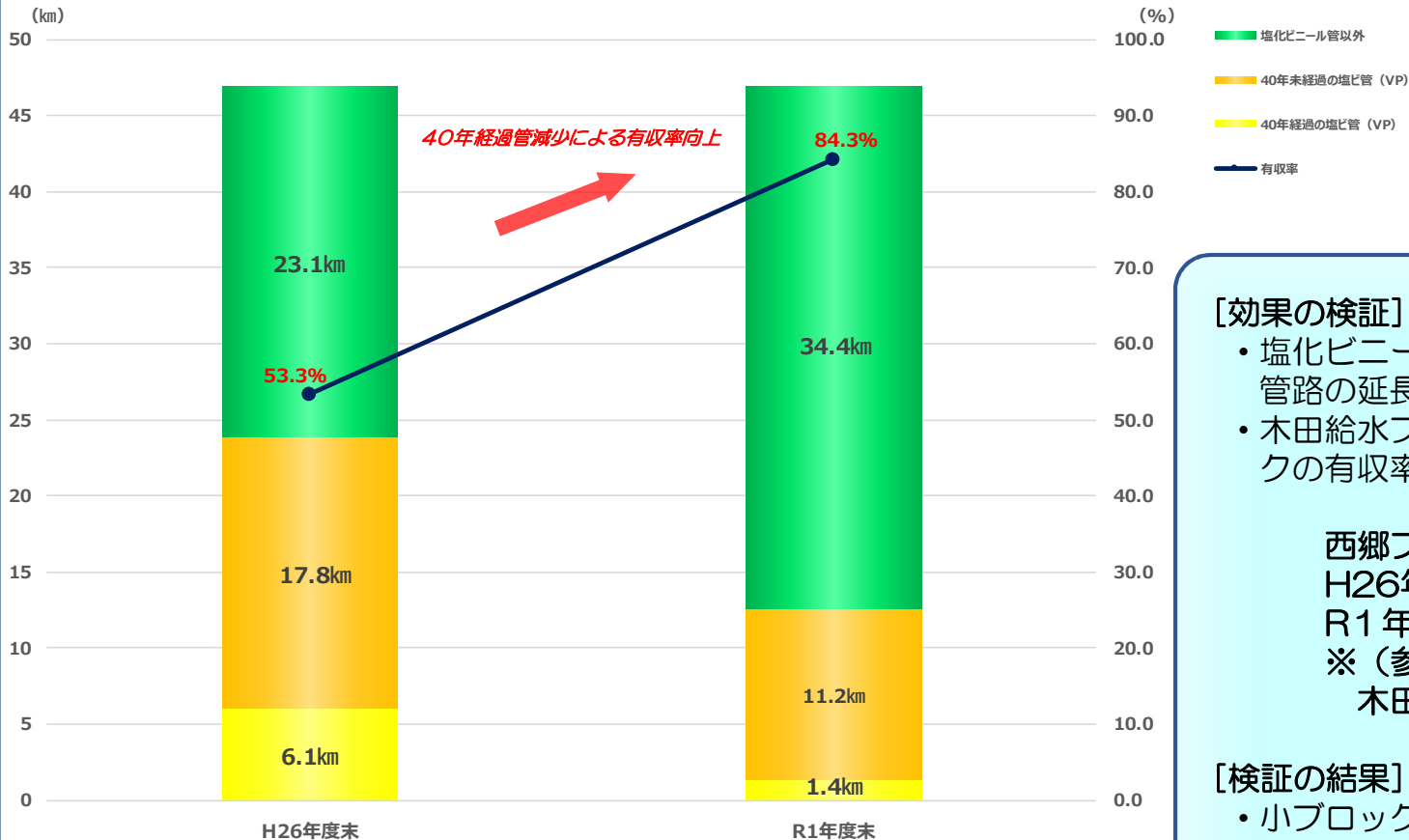
- 1 漏水などを減らす直接的な対策
 - 老朽管の布設替え
⇒40年経過した塩化ビニール管の布設替え
- 2 管理のしやすさに資する対策
 - 小ブロック化の推進
⇒有収率の正確な把握

水道事業における有収率改善への取り組み

対策による効果の実証の一例

西郷ブロックにおける40年経過塩化ビニール管（VP）と有収率

※40年経過管路=法定耐用年数を超過した管路



[効果の検証]

- 塩化ビニール管の布設替えにより、40年経過した管路の延長が減少し有収率が向上している。
- 木田給水ブロック全体の有収率と比べ、西郷ブロックの有収率が上回っている。

西郷ブロック内有収率

H26年度末 . . . 53.3%

R1年度末 . . . 84.3%

※（参考）R1年度末

木田給水ブロック . . . 78.0%

[検証の結果]

- 小ブロック化による、集中的な老朽化した塩化ビニール管の布設替えにより有収率が向上。

⇒ 有収率の改善について対策の効果を実証。

水道事業における有収率改善への取り組み

今後の方針

■有収率改善に向けた今後の方針

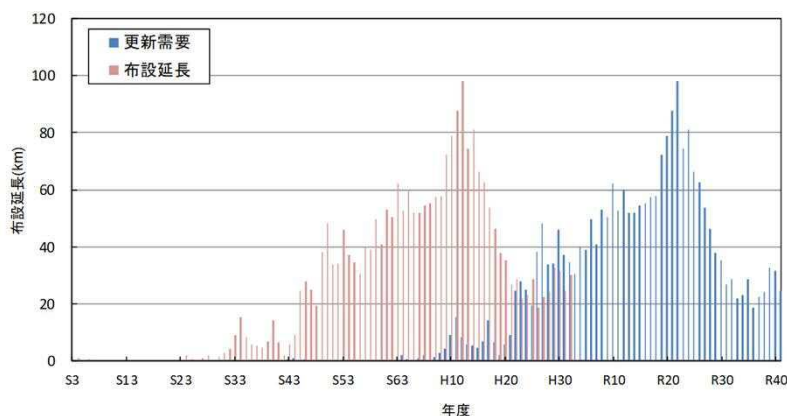
対策の検証・実証により、有収率改善計画における対策の効果を確認

対策の実施と検証による有収率改善計画の適宜見直し（有収率向上方策検討会）

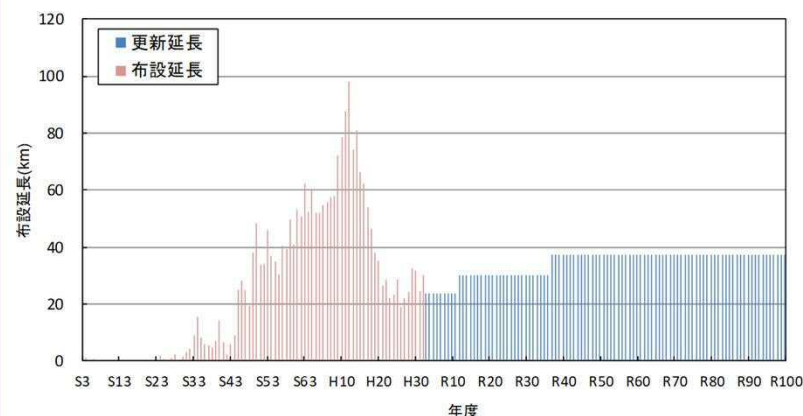
ストックマネジメント管理などの計画的な投資により有収率の向上に努めていく

- ▷ストックマネジメント管理に基づく長寿命化等により、健全度の著しい低下を抑制
- ▷更新需要の平準化と将来的な経費の縮減を図る計画的な水道管の更新

<法定耐用年数による更新需要の推移>



<ストックマネジメント管理による更新需要の推移>



有収率の改善には、時間を要することから、長期的な視点に立ち財政計画と投資計画のバランスを図り、有収率改善計画に基づく対策を着実に実施して有収率の向上に努めていく。

水道事業における有収率改善への取り組み

(参考) 有収率等の推移

水道管更新率、経年化率と有収率実績の相関関係

